

多文化共生のまちを目指して

講座名	多文化共生のまちを目指して【小松市国際交流協会タイアップ】
講師紹介	小松市国際交流協会 日本語コーディネーター グラッシ 徳子 公立小松大学 特任教授 村上 洋子
講座内容	<p>「やさしい日本語」とは、外国人などにも分かるように配慮して、簡単にした日本語のことです。1995年の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人もいました。</p> <p>そこで、そうした人たちが災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」です。</p> <p>令和5年5月1日現在、小松市在住の外国人数は43ヶ国、2843人と過去最高を記録しました。</p> <p>災害時のみならず、日本人と外国人が地域で共に暮らし活躍していく多文化共生社会を実現していくには、「やさしい日本語」の活用が重要です。</p> <p>この講座は「やさしい日本語」を使って外国人とコミュニケーションをし、地域住民の一員として一緒に防災や子どもの教育のことを考え、そして楽しく異文化理解ができる内容になっています。</p>
こんな方におススメ	<ul style="list-style-type: none">・国際交流に興味のある人・近所に外国人が住んでいるので話をしてみたい人など
その他	